



ト云フ修正ノ方ノ御議論モアルシ、ソレカラ中ニハ町村ヲシテ更ラニ二級制ニ還シテ、サウシテ其市制タ町村制ノ平均ヲ保タセルト云フコトニシテ修正シタイト云フ御考モアルヤウデアリマス、私ノ考ト致シマシテハ、原案ヨリモ我ミノ理想ニ遠イコトニ是ガ決定セラルルコトハ甚ダ遺憾ニ考ヘマスノデ、少クトモ此結果ト致シマシテ、原案ヨリモ退歩シタル所ノ案ガ實行セラルルト云フコトハ、絕對ニ我ミハ反對シナケレバナラヌト思フノデアリマス、其意味ニ於キマシテ、無理ニ我ミノ理想ノ撤廢ト云フ事ヲ何處迄モ固持シテ、所謂玉碎スル迄ヤルト云フコトハ、私ハ反對ノ意見ヲ表シタイト思ヒマス、ソレカラ荒川サンノ唯今ノ御提出ノ案モ、是モ我ミノ理想ト致シマシテハ御同感デアリマシテ、嘗テ當局ニ我ミガ伺ヒマシタトキニ於テモ、其點ハ甚ダ當局トシテハ斷行スルト云フヤウナ御考モ承ラズ遺憾ニ考ヘテ居ツタ所デアリマスルガ、唯我ミハ此實際上ニ此市町村ノ制度ガ現在ノ原案ヨリモ退歩シタルコトニナリ、若クハ是ガ否決セラルルト云フコトニナリマスルト、我ミノ理想ノ幾分モ達セラレナイト云フ事ニナル、斯ウナルコトハ甚ダ遺憾ニ存ジマスルガ故ニ、最後ニ我ミノ讓歩スベキ所ハ原案デアルト思フノデ、ソレ以上ニ強ク此委員會ニ於テ可決セラレマスレバ私ハ喜ンデ委員會ノ決議ニ服シマスガ、私一個ノ考ト致シマシテハ、只今ノ湯淺サン及ビ荒川サンノ御意見ニ付テ、以上ノコトヲ……説ヲ申述ベテ置ク次第デアリマス。

○子爵野村益三君 本會ノ特別委員會デハ十分ナル参考資料モ手ニ入レマシテ、且ツ連日ニ瓦ツテ詳細ナル審議ヲ致シタノデアリマス、殊ニ我ガ畏敬スル同僚ノ湯淺君カラ周到ナル御質問モアリ、我ミモ依ッテ以テ大ニ研究ノ便ヲ與ヘラレタコトヲ感謝スルノデアリマス、ノミナラズ案其者ノ内容ヨリ進ンデ内外ノ形勢ニ迄我ミハ研究スル事ヲ得ヌノデアリマス、斯クシテ彼此研究ノ結果ヲ綜合イタシマシテ、私ノ考トシテハ結局只今島津男爵カラ大要ヲ申述ベラレタコトニ於テ御同意ヲ表スルノデアリマス、詰リ高處大處カラ見マシテ此特別ナル時機ニ於テ本案ヲ贊

成スル、修正案ニ付テハドウシテモ御同意出來兼ネルト云フ結論ニ達スルノデアリマス、其道行ニ付テハ斯ウ云フ場合デゴザイマスカラ、詳シク申述ベルコトモドウダラウト思ヒマス、私モ結論ダケラ申述ベタイト思ヒマス。

○委員長(公爵近衛文麿君) 他ニ御意見ガナケレバ

○山田敏君 此案ニ對シマシテ賛否ヲ決シマスルニ付キマシテハ、此間内ニ、内務大臣カラ町村戸數割ノ制限ニ對スル規定其コトニ付キ御親切ナル御辯明ガアリマシタガ、敢テソレニ疑フ容レル譯デハアリマセヌケレドモ、重要ナル問題デアリマスルカラ總理大臣ノ辯明ヲ承リタイト思ヒマス、之ニ付テ昨日内務大臣大藏大臣ニモ御話ニナッテ、大藏大臣ハ了解シテ居ル、併ナガラマダ條文ハ見ナイ、斯ウ云フヤウナ御話モアリマシタカラシテ、内務、大藏兩省ニ關係シタ事デアリマスカラ、總理大臣ノ言明ヲ此際希望シテ、ソレニ依テ賛否ヲ決メタイト思ヒマス。

○男爵阪谷芳郎君 市町村制ヲ能ク審査イタシマシタガ、是ハ時勢ノ進歩ニ伴シタ進歩的ノモノデアリマシテ、成ルベク是ニ賛成シタイトハ考ヘマスガ、併シ只今島津君、湯淺君ノ御説ノ如ク徹底シテ居ラヌ、如ニモ徹底シテ居ラヌト云フ事ハ遺憾ニ存ジマス、斯ウ云フ市町村ニ關スル重要ナル法文ナルモノヲ、サウ屢々修正スル譯ニハ行キマセヌカラ、成リマスルナラバ此度ノ時機ニ於テ遺憾ナキ様ニ修正シテ置キタイ、然ルニ此ドウモ等級ノ廢止ガチグハグニナックテ其意味ガ徹底シテ居ラヌ、尤モ段々ノ御説明ニ依リマシテ、一級ナリ二級ノ區別モ修正案ノ方デハ選ミ方ガ違ッテ、一級ニ二級ノ差ガ接近シテ居ルノデアリマス、從前ヨリモ餘程此方ハ善クナツテ居リマスカラ、矢張リ等級ガアルト云フト、是ガ問題トナラネバ宜イケレドモ、併シ一旦問題ニナルト矢張リ

○大谷嘉兵衛君 質問ハモウ終リマシタ、只今御意見ヲ伺ッテ居ル所デアリマス。

○大谷嘉兵衛君 基督

○湯浅倉平君 チヨット野村子爵ニ伺ヒマスガ、市制ノ方ノ百七十七條ノ規定ハ北海道會法案ニ障碍ヲ見ルト見ナイトニ依テ、何ダカ手ヲ入レナケレバナラヌ規定デヤナイカト思ヒマスガ、其方ニ付テハ原案ヲ御賛成ニナリマスニ付テハ、何處マデノ御考デアリマセウカ

○子爵野村益三君 先刻實ハ申落シマシタガ、御説ノ通り抵觸スルモノト考ヘマス、ソレデ若シ議事ノマスカラ、今湯淺君ノ御述べニナツタ如ク徹底的ニ修經過ニ依テハ湯淺君ノ希望ニ賛成イタシマス

○國務大臣(床次竹一郎君) 只今湯淺君ノ第百七十條デアリマシタカ、ソレハ政府ト致シマシテハ府

縣制並ニ北海道法改正案ガ成立チマセヌデ、市町村讓步シタノデアル、併シ政府トシテ満足ハ出來ヌト云フ御説明デアリマスカラ、矢張リ政府モ多少不備ナコトハ感じテ居ラレルノデアリマセウ、時期ハ切迫シテ居リマスケレドモ、必ズシモ衆議院ガ貴族院ノ修正ニ同意セヌト云フ事モナイノデアリマスルシ、完全ヲ期スル上ニ於テ矢張リ湯淺君ノ言ハレル如ク、又島津男爵ノ賛成セラレタ如クニ、此案ノ成立ヲ私ハ希望イタシマス、又山田君ノ御述ベニナツタ通リ道會ヲ廢スルニ付テハ極メテ戸數割標準ノ規定、即チ過日内務大臣ガ勅令ヲ以テ六月頃マテハ定メラレルデアラウ、ト云フノデ疑問ガアリマシタガ、此事ハ極メテ此案ヲ徹底スル上ニ於テ大切ノ言明ト存ジマス、此上ニ尙ホ總理大臣ノ言明ガアレバ尙ホ更ニ結構ニ思フノデアリマス、併シ本員ハ何處マデモ此折角進歩シタ法案デアリマスカラ、此法案ガ死ンデシマフト云フ事ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、此點ハ本員ハ甚ダ心配スル所デアリマスケレドモ、成ルベク今諸君ノ御同意ガアリマスルナラバ、多數ヲ以テ湯淺君ノ提案通りニ修正シテ可決シタイト考ヘマスカラ湯淺君ニ賛成イタシマス

○大谷嘉兵衛君 基督

○委員長(公爵近衛文麿君) 質問ハモウ終リマシタ、只今御意見ヲ伺ッテ居ル所デアリマス。

○大谷嘉兵衛君 基督

○湯浅倉平君 チヨット野村子爵ニ伺ヒマスガ、市制ノ方ノ百七十七條ノ規定ハ北海道會法案ニ障碍ヲ見ルト見ナイトニ依テ、何ダカ手ヲ入レナケレバナラヌ規定デヤナイカト思ヒマスガ、其方ニ付テハ原案ヲ御賛成ニナリマスニ付テハ、何處マデノ御考デアリマセウカ

○子爵野村益三君 先刻實ハ申落シマシタガ、御説ノ通り抵觸スルモノト考ヘマス、ソレデ若シ議事ノマスカラ、今湯淺君ノ御述べニナツタ如ク徹底的ニ修經過ニ依テハ湯淺君ノ希望ニ賛成イタシマス

制ノミ成立イタシマシテモ差支ナイ積リデアリマス、サウ云フ解釋ノ下ニ作ッテ在ル積リデアリマス、之ヲ申上ゲテ置キマス。

○湯浅倉平君 只今内務大臣ノ御意見ニ付キマシテチヨット伺ヒタインデアリマス、是ハ私ハ何レニナリマシテモ、自分ノ意見ノ通ル、通ラナイハ別ト致シマシテ、貴族院ガ立法ニ付テ協賛スルト云フ、上カラ、法文ノ完璧ヲ期シタイト云フ趣意カラ御尋ネ致スノデアリマスガ、私モ實ハ餘リ北海道ノ制度ハ能ク存ジマセヌノデ、思ヒ違ヒノ點ガアルカモ知レマセヌガ、道名譽職參事會員ト云フヤウナ者ガ他ノ法文ニナクテ、突如トシテ市制中改正法律案ニ現ハレタヤウナ結果ニナリハセヌカト思ヒマスガ、サウスルト如何ニモ妙ナ形ニナリハセヌカト云フ事ヲ懸念シマスガ、其邊ドウ云フ御見込デゴザイマスカ。

○政府委員（塚本清治君） 今ノ御質問ハ少シ分リ兼

ネマスガ、私共ノ見マス所デハ、此百七十七條ニ道參事會員ト云フ規定ガ載テ居リマスガ、畢竟此北海道ニ市制ヲ施ク上ハ、此規定ガ効イテ參リマス、即チ附則ニ依リマシテ、市制第二條ニ依テ區ラ市ニ編入シタ時ハ、此道參事會員、或ハ又地方費ノ有給吏員、北海道地方稅等皆効イテ參リマス、併ナガラ市ニ編入センデ置ケバ適用ハ見ナインデアリマスカラ、何等此法文ハ斯ウ致シテアリマスケレドモ差支ヘハ來サナイ見込デアリマス、又此見解ハ正シイト信ジテ居リマス。

○湯浅倉平君 北海道參事會ト云フモノガ法制ノ上ニ存在セズ、道名譽職參事會員ナルモノガ法制ノ上ニ現實シテ居ナイ、其モノガ北海道ノ制度トハ離レテ一般市制ノ法律案中ニ突如トシテ現ハレルト云フ事ハ、如何ニシテモ法文ノ體ヲ爲サヌト考ヘラレルノデアリマス、適用ヲ認メナイト云フコトハ是ハ論ノアル事デアリマスケレドモ、適用ノアルナシト云フヨリモ何等存在ヲシナイン法制ノ上ニ存在セズ、世ノ中ノ上ニ現實シナイ北海道名譽職參事會員ト云フモノガ、一般市制ノ規定ニ現ハレルト云フ事ハ如何ニモ體ヲ爲サヌト私ハ思フ、併ナガラソレデ御差支ナイト云フコトデアレバ是ハ御意見ト私ノ卑見トノ

○委員長（公爵近衛文麿君） 山田君ニ申シマスガ、山田斂君 此度市町村制改正ノ案ガ出マシタニ際シテ贊否ヲ決スル上ニ於テ色々ノ議論モアリマス、其中實質問題トシテ重要なコトハ府縣稅ノ戸數ノ規定ヲ設ケルカ否ヤ、現在ノ町村ノ有様ナドニ見マスルト見立割ト云フモノガ隨分多ク行ハレマシテ、地方ニ於キマス所ノ先ヅ頭立ツタモノニハ、見立ヲ以テ何等ノ標準ナクシテ戸別割ヲ賦課スルト云フ様ナ一ツノ弊害ト認ム可モノガ各地ニアルノデアリマス、ソレガ町村ニ於テ二級制ガ撤廢サレルトサウ云フ弊害ガ一層增長シナイダラウカ、增長スルト法ガ完備シナイカ、斯ウ云フ感ジガアルノデアリマス、ソレニ付キマシテ此間中内務大臣ニ質問ヲシマシタガ、内容ニ付テ今日ハマダ相談シテ居リマセヌカモ知レマセヌガ、何レニシテモ最モ是ハ設ケナケレバナラヌト思ツテ居リマス。

○山田斂君 今ノ御話デ了解イタシマシタガ、此勅令ハ市町村制ノ改正サレルト否トニ拘ハラズ、御出シニナルト云フ御考デアルト云フ事モ分リマシタガ、若シ此市町村制ガ兩院ヲ通過スルト尙更早ク御出シ下スッタ方ガ宜イト私ハ考ヘテ居リマスガ、政府ニ於テ若シ此案ガ通過スル暁ニハ成ルベク速力ニ御出シニナルト云フコトニ御努メヲ願ヒタイ、サウ云フコトガ出來マスカ。

○國務大臣（原敬君） 其通りデアリマス、成ルベク早クヤラウト思ツテ居リマス、是ハ今申シタ通り今回ノ市町村制改正案ガ通過シテモシナクテモヤラナケレバナリマセヌガ、アレガ通過スレバ尙更ノコトデ、成ルベク速力ニ發表スルヨリ仕方ナカラウト思ヒマス。

○大谷嘉兵衛君 私ニ於キマシテハ固ヨリ原案ニ賛成イタシマス、之ニ付キマシテハ私ノ考ト致シマシテハ、此案ガ公平デアルト云フコトヲ思ツテ居ルノデアリマス、是迄ハ一級二級三級デアリマシタガ、町村ノ市ハ一級二級三級ト云フヤウナ級別ヲ取ツテ先づ以テ實行スルト云フスウ云フ趣旨ニ止ツテ居リマベ、ソレデ尙又山田君カラモ希望モアリマシタシ、唯今ノ總理大臣ノ御答辯デ見マスルト戸數割ヲ決メナケレバナラヌト云フヤウナコトノ御言葉デアリマシタガ、一層満足イタシマシタ次第デアリマス、私ハ此意味ヲ以テ原案ニ賛成スルモノデアリマス。

- 木場貞長君　私ハ本案ニハ贊成ヲ表スルノデアリ  
マスルガ、少シク其理由ヲ申シタイト思ヒマス、本案  
ノ中ノ最モ重要ナルモノハ所謂階級選舉ノ點デアリ  
マスルガ、世ノ中ニ貴族院ナリ、衆議院ナリ、又此委員  
會ヲ通ジテ階級撤廢ト云フコトヲ理想トシテ居ル人  
モアラウシ、又階級維持ヲ理想トスル人モアルト云  
フコトハ實際ノ事實ト思ヒマスガ、階級撤廢ヲ理想  
トスル人カラ見マスレバ、此案ハ不徹底デアル、階級  
制ヲ維持スル方ノ人カラ見レバ、矢張リ不徹底デアル  
ト云フコトハアリマセウト思ヒマス、併ナガラ案ノ  
實質ヲ能ク考ヘテ見マスルト、案ソノモノハ其中間  
ヲ歩イテ居ルノデアッテ、案自體ニ於テハ矢張リ一ツ  
ノ徹底シタ主義ガアルト私ハ思フノデアリマス、現  
在ハ三級制度デアルノヲバ、撤廢トマデハ行カズニ  
二級ノ市ニ於テハチヨット……町村ノ方デハ二級制  
ニナシテ居ルノデアルカラ、之ヲ大體ニ於テハ撤廢ト  
スルコトニハスルケレドモ、町村條例ヲ以テ二級選  
舉ノ制ヲ布クコトモ出來ル、デアリマスルカラ、撤廢  
マデハ行カナイ、其中間ヲ行クト云フ事ニ付テハ矢  
張リ其中間ニ主義ノ徹底ヲ見ルコトガ出來ルト私ハ  
思フノデアリマス、ソレデ撤廢論者又ハ維持論者カラ  
見レバ無論不徹底デアリマスルガ、第三ノ立場ニ  
居ル者カラ見レバ、矢張リ確カニ主義モ徹底シテ居ル  
ト思フ、尙又徹底論者ト云ヒ維持論者ト云々所デ折  
合フト云フ案ハ何時モ多少不徹底ヲ雙方ノ者ガ感ズ  
ルモノデアリマスルガ、此案ノ如キモドウヤラ衆議  
院ニ於テモ或ハ其前ニモ種々ナ曲折ガアッテ折合フ  
結果此ニ至ッタモノト思ハレマスルカラ、此上ニハ私  
ナドモ多少ノ意見ガ無イコトハアリマセヌガ、今日  
ノ時世ニ行ハレル案ト致シマシテハコ、ラデ折合フ  
外ナイ、必ズシモ全然此案ニ謳歌スル譯デハナイン  
デアリマスルケレドモ、今日ノ時世ニ於テ行ハレ得  
タルモノトシテハコ、ラヨリ仕方ガナイト思ヒマス  
カラ、私ハ贊成ノ意ヲ表スルノデアリマス  
メマス、是ヨリ採決ヲ致シマス  
○委員長（公爵近衛文麿君）モウ御意見モ盡キマシ  
タヤウデアリマスルカラ、討論ハ是デ終ッタモノト認

- 委員長(公爵近衛文麿君) 採決ノ順序ハ一番初メニ湯淺君ノ修正案、其次ニ荒川君ノ修正案ヲ採決スルコトニ致シマシテ御異議ゴザイマセヌカ  
○湯淺倉平君 其御採決ノ方法ニ付キマシテ私ハ一  
應御願ヒシテ置キタイト思フノデアリマスルガ、等級ヲ廢止スル若クハ存置スルト云フ修正ノ意見ニ付キマシテハ、只今御示シノ順序デ宜シカラウト思ヒ  
マス、唯此市制ノ百七十七條ト夫カラ附則ニ關係ヲ致シマスルカラ、是ハ北海道ノ制度ガドウ云フ風ニ  
決リマスルカニ依テ此文字ニ手ヲ入レルガ相當デハ  
ナイカト思フ、此點ニ付キマジテハ先刻野村子爵モ  
御同感デアッタカノヤウニ思ヒマス、ソレデ其分ダ  
ケヲ一ツ御切離シヲ願ヒマシテ、此方ハ更ニ御懇談  
申シテモ宜イカト思ヒマス、當局ノ御意見モモウ少  
シ伺ッテモ宜カラウト思ヒマス、其分ダケヲ別ニ願ヒ  
タウゴザイマスガ、若シ之ヲ具體的ニ修正意見ヲ私  
ガ申述べテ宜シウゴザイマスレバ、北海道參事會、北  
海道ノ名譽職參事會員ト云フ者ハ現在無イノデス、  
今度ノ北海道ノ制度ニ依テ始メテ設ケラレルモノデ  
アリマスルカラ、其方ガ議定ヲ見マセヌケレバ暫ク  
此百七十七條ヲ削リ、附則ノ「北海道又ハ」ト云フ文  
字ヲ削ッテ置イテ少シモ差支ナインミナラズ、法文ハ  
マスガ、如何ニモ斯ウ云フ會期切迫ノ折柄デアル爲  
シモ御構ヒニナル事ハナイト思フ、尙ホ私ニ誤解ガ  
アリマスレバ、間違ッテ居リマスレバ、何時デモ改メ  
委員中ノ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ當局ノ少  
ニ非常ニ杜撰ナ儘デ法文ガ通過スルコトガアッテハ  
甚ダ面白クナイト考ヘマスルカラ、其點ハ尙ホ篤ト  
ヒ致シテ置キス  
○男爵阪谷芳郎君 チヨット速記ヲ御止メヲ願ヒタ  
イト思ヒマス  
○委員長(公爵近衛文麿君) ソレデハ採決イタシマ  
〔速記中止〕

舉手者少數

- 湯淺君ノ修正議案ノ抜き一シテ、申候ニ付テ、第  
三條ニ二級ニナシ得ルト云フ例外ノ規定ヲ削除ス  
ル、ソレカラ只今ノ第百七十七條ノ中ノ北海道會法  
ニ關係スル部分ハ是ハ削除スルト云フ、是デ間違ハ  
アリマセヌカ  
○平井六右衛門君 道會撤廢ト云フ點ニ付テ先ニ願  
ヒタイン  
○委員長(公爵近衛文麿君) 只今ノ修正案ハ少數ヲ  
以テ否決  
○男爵阪谷芳郎君 私ノ申シタ事ガ速記ニ載ッテ居  
マセヌカラ、チヨット申シテ置キマス、私ハ此第百七  
十七條ノ北海道法ノ所ガ可決ニナリマシタ場合ニハ  
此儘ノ如ク、否決ニナリマシタ時ニハ是ヲ削ルト云  
フコトヲ委員會ニ一任シテ置クノデアリマス、未了  
ニナツタ場合ニハ其自然ノ成行ニ委スヨリ外仕方ガ  
ナイ、斯ウ云フ意味デ湯淺君ニ贊成シタンデスガ、湯  
淺君ノ御説ト違ヒマスカ  
○湯淺倉平君 私ハ尙ホ斯様ナ場合ヲ憂慮シテ居ル  
ノデアリマス、ソレハ審査スル餘地ガナイト云フ事  
ヲ、合理的ニ考ヘテ委員會ヲ決メタ場合ニハ、此條ハ  
到底削除サルベキモノデアル、ソレ故ニ否決ノ場合  
及審査未了ト云フコトヲ委員會ガ決定シ、若クハ審  
議スル餘地ガナイト云フコトニ決定シタ場合ニハ、  
百七十七條ヲ削除シ、附則中「北海道又ハ」ノ五字ヲ  
削除スル、斯ウ云フ意味デアリマス  
○木場貞長君 御尋シマスガ、審議未了ニナレバド  
ウナリマスカ  
○湯淺倉平君 御答ヘ致シマスガ、先刻私ガ意見ヲ  
述ベマシタ時分ニ丁度木場サンハ御不在デアリマシ  
タガ、私ハ條件附デ斯様ナ意見ヲ有ツテ居ル、ソレハ  
是ニ關係スル他ノ法案ノ運命如何ニ依ツテ決セラレ  
ル問題デアルカラ、ソレマデ未了ナリ、若クハ是ヲ  
削ルト云フコトニナレバ、假決議ノ形ニ於テ可決シ

テ貰ヒタイ、斯ウ云フ意見デアリマス

○木場貞長君 阪谷男ノ御説ガ條件附ノ御説デアツタノデ、他ノ場合ニ於ケル 貴族院ノ慣例ヲ準用スルモノ、デアレカラ、別ラノテ 七ヶ月決スレ迄錢シテ置ク

ト云フコトナラ、最初カラ切離シテ決シタイト云フ  
コトト矛盾スルノデアリマス

○湯淺倉平君 大變私ノ趣旨ヲ 御以達ヘニナツテ居ルヤウデアリマス、少シモ進行ヲ 阻害スルト云フ者ヘハナイ、デ此百七十七條ニ就テハ、若シ北海道會法申シテ置イテ留保シテ置クト云フ話デアリマス、他レヲ其場合ニ削ッタラ宜カラウ、斯ウ云フ意見ヲ豫メノ法案マデ進行ヲドウシヤウト云フ考ハ少シモナイノデアリマス

○本場貞長君 要シマスルノニサウ云フ仰セナラ阪谷男トノ折合ニナツタヤウデアリマスガ……

○湯淺倉平君 最初カラ私ハ此問題ニ對シテノ考ハ唯委員會ノ意志ノ發表如何ニ係ルト思フノデス

○政府委員(松村眞一郎君) 丁度只今ノ問題ト關係イタシマシテ、先づ見越シマシタ立法ノ、法律ト法律ノ關係ニ就キマシテハ只今チヨット氣付キマセヌガ、先づ見越シタ立法デマダ改正ノナイモノヲ豫想シタ法律案ノ一つノ例ト致シマシテ、此議會ニ特許法ノ改正案ヲ政府ヨリ提出イタシマシテ、共中ニ特許局長ト書イテアツタノデアリマスガ、ソレヲ衆議院ノ方デハ、特許局ハ將來大キクナルト云フ豫算ノ下ニ特許局長官ト云フコトニ改メラレタノデアリマス、此衆議院ノ修正ノ儘貴族院ニ廻リマンテ、貴族院ノ委員會ハソレデ 御通過ニナツテ居ル最近ノ例ガアリマス、特許局長官ト書イテアリマスカ、元來特許局官制ハ法律ニ書イテアルノデハゴザイマセヌ、勅令デ出來テ居ルノデアリマスカラ、將來勅令ヲ 改正イタシマシタ場合ニハ 特許局長トナリマスカ、此豫想ニ於テ立法セラレタル例ノ如ク特許局長トナリマスカ、其邊ハ分ラナイト存ジマスケレドモ、法律ノ方デ先づデ認メテ通過シタノデアリマス、先越シタ一ノ立法

○子爵野村益三君 私ハ百七十七條ノ條文ニ對シテ  
疑義ヲ有ツテ居ツタソニアリマス、丁度湯淺君カラ  
メ御話ノアツタヤウナ同一理由デ、道參事會並ニ道名  
譽職參事會員ト云フコトハ削ルガ穩當デアルト、斯  
ウ云フ意見ヲ有ツテ賛成シタノデアリマス、其後阪公  
男爵カラ御提案ニナリマシテ變通ニ處スル途ガ發見  
セラレマシタノデ、御尤モノヤウニ感ズルノデアリ  
マス、私ノ疑義ハ大部分阪谷男爵ノ御提案ニ依ツテ  
應道ガ附ケラレタモノト考ヘマス、依テ初メノコ  
ヲ取消シマシテ、改メテ阪谷男爵ノ御提案ニ賛成シ

○委員長(公爵近衛文麿君) ソレデハ只今ノ阪谷里  
即是案ニ付テ、採決ヲ致ノマス、只今ノ即是案ニ付

御賛成ノ方ハ擧手ヲ願ヒマス

○委員長(公爵近衛文麿君) 多數デアリマス、ソ  
デハ只今ノ通り決シマス、第二ニ荒川君ノ修正案ヲ  
采セテノマス、行則ハ之ヲ二段トゾテ案例ヲ以テ

採決行クシマニ市制ノ之ヲ二級トミテ創設シ以例外ヲ認メル、即チ無級トスルコトモ出來ル、ソレラ町村制ハ矢張リ二級トシテ町村條例ヲ以テ例外ヲ

認メルコトガ出來ル、即チ無級トスルコトガ出來ル  
此案ニ御賛成ノ方ハ舉手ヲ願ヒマス  
(ハ基三者ノ改)

○委員長(公爵近衛文麿君) 少數デアリマス、ソニ  
デハ政府ノ原案ニ就テ採決ヲ致シマス、政府ノ原案

ニ御異議アリマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(玄簡近衛文麿君) 多數<sup>アリ</sup>以テ政府ノ原案ヲ可決イタシマス、次ニ郡制廢止ニ關スル法律案衆議院議員選舉區ニ關スル法律案、之ヲ議題ニ供し

○湯淺倉平君　此案ニ付キマシテチヨット伺ツテ置マス  
アバゲハ過一郎判<sup>後</sup>ニ、唐ニ、郡直ノ進守係道ニ、スル

見込デアルト云フ當局ノ御答辯テアリマシタガ  
府縣道ト云フモノハドウ云フ風ニナツテ、ドウ云フ

○國務大臣(床次竹二郎君) 總テ管理其他府縣ノ  
ニ管理經營サレルト云フ コトデアリマセウカ

○政府委員（塚本清治君）只今御手許ニ差上ゲマシタノデスガ、其中ニ郡へ移ッタノモ七ツアル、明治四十年カラ七年ニ至ル間ノ組合デアヅテ、サウシテ郡ヘ事業ヲ移シタタメニ解散イタシ、解散イタシマシタモノガ七ツアル、是モ併シ只今ノハ土木ト云フモノノ組合ニシテ其事業ヲ郡ニ移シマシタタメニ組合ヲ解除シマシタノガ七ツ、教育ニ關スル組合ニシテ其事業ヲ郡ニ移シマシタノハ一ツ、是モ町村組合ノ解除ノ事由ノ調べト致シマシテ、四十年カラ今日ニ至ルマデノ書類ニ付テ調査ヲイタシタノデアリマスルガ、事由ヲ明記イタシマセヌデ報告ニナッタノモ少ナクナインデアリマス、寧ロ其方が餘程多數デアリマスカラ、ソレデ四十年カラ今日ニ至ルマデ組合解除ノ事由ヲ悉ク分類ヲ以テ盡シタモノトハ申上げ兼ルノデアリマス、右御了承ヲ願ヒタク存ジマス

○委員長（公爵近衛文麿君）御質問ガナケレバ是デ質問ハ終了シマシテ討論ニ移リマス、此案ニ付テ御意見ノアル方ハ御述ベラ願ヒマス

○湯淺倉平君 私ハ郡制廢止ニ關スル法律案、及ビ衆議院議員選舉區ニ關スル法律案、此兩案ヲ一括シマシテ、之ニ反對ヲ致ス者デアリマス、其理由ハ成ルベク、簡單ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、要スルニ郡制ノ存在ト云フ事ガ何等ノ害モナク、不便ト云フ事ガナイ、殆ンド徐々ニ且ツ確實ニ漸次郡ナル自治體ハ成育シツ、アルト云フノガ、實際ノ狀態デアリマス、而シテ府縣ト町村ノ制度ノ中間ノ團體トシテ相當ノ事業ヲ經營シテ往クベキ必要ナル團體ナリト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ政府ノ郡制廢止ヲ必要ナリトスル理由トシテ定メラレマシタ所ヲ見マスルト云フト、事實ニ當ツテ居ナイト思フノデアリマス、ソレハ郡制ヲ廢止スレバ地方自治體ガ極メテ簡便トナルト云フノガ主ナル理由デアリマスケレドモ、郡制廢止ノ結果ハ、必ズヤ郡ガ經營シテ居ル所ノ事業、郡ノ管理シテ居ル所ノ營造物ノ如キモノハ、町村組合ノ事業ニ相成ルモノガ尠ナカラヌト思フノデアリマス、而シテ町村組合ノ經營ニ移リマスト云フコトニナリマスルト、一郡内ニ二ツ以上ノ町村組合ノ成立ヲ見ルト云フコトガ多々アラウト思フノデアリマ

ス、サウ致シマスルト、郡制ヲ廢止シタル結果ハ、府縣ト町村トノ間ニ、町村組合ノ簇生ヲ見ル、而シテ郡令ニ代ルベキモノトシテ、町村組合會ト云フモノガ、必代ツテ出來ルコトニナリマスカラ、會議ノ煩雜、或ハ選舉ノ關係ト云フヤウナコトニ於キマシテモ、何等郡制ノ存置シテ居ルコト變ルコトハナシ、又郡ナル自治體ニハ徵稅權ガナイ、隨ツテ其費用ハ町村デ分賦ヲシナケレバナラナイト云フ爲ニ、郡ノ發達ガ遲トシテ進マヌト云フコトハ、是ハ事實デアリマスガ、町村組合トナッテモ矢張リ同様ニ町村組合ノ事業ノ費用ナルモノハ、關係町村ニ分賦シナケレバナラヌ、其關係ニ於テ郡制ノ存在ト何等異ナルコトハナイ、私ハ郡制廢止ノ必要ナリトシテ示サレタル理由ニ付テ、少シモ其理由ヲ是認首肯スルコトガ出來ナインデアリマスカラ、却テ之ニ反對ノ事實ガ今日ヨリ豫想サレ、其豫想ヲ信ズベキ状況ガアルト考ヘルノデアリマスカラ、郡制廢止案ニ反對ヲ致シマスト、同時ニ、之ニ伴ツテ必要ナリトスル衆議院議員選舉區ニ關スル法律案ヲ不必要ナリト致シマシテ、之ニ反對スル次第アリマス

○荒川義太郎君此郡制廢止案ニ付テ私モチヨット申シテ置キタイノデアリマス、是ハ大體今湯淺君ノ話サレタ通リニ、殆ド同意ヲスルノデアリマスガ、併ナガラ此間カラノ質問應答ニ付テ大概事柄ハ分ツテ居リマスガ、マア第一ニ之ヲ廢スルト云フ事ニナリマスルト、今湯淺君ガ十分ニ述ベラレマシタ通り、後ニ殘シタモノ、是ノ歸屬スル點ニ付テハ、餘程面倒ニナツテ、ソレガ爲ニ當局ガ御考ヘニナツタ通リニ、是ガ事務ノ簡捷ガ出來、又經費ノ節約ガ出來ルト云フコトガ餘程分ラナイ、研究シナケレバナラナイ問題ニナラウト思ヒマス、ソレカラ又一方ニハ或ハ地方ノ之ニ付テ地方制度ニ餘程大關係ヲ有ツテ居ル郡ト云フモノヲ廢ス、此可否ニ付テハ、即チ前ニモ貴族院デ此議論ガ出テ遂ニ否決ニナツタノデアリマスガ、此階級ヲ廢シテ仕舞ツタナラバ、餘程事務ガ輕便ニ行クト合ガ残ルト云フコトニナレバ、事務ノ輕便ト云フコトモ考ヘテ見ナケレバナラヌコトデアリマスガ、必

ズシモ地方ノ事務ノ輕便輕便ト云フコトヲ主トスルト云フト、終ニハ事業ガ舉ガラヌト云フコトモ考ヘテ見ナケレバナラヌ、方法ノ如何ト云フコト、之ニ付テハ深クモ私ハ研究シテ居リマセヌガ、歐羅巴アタリデモ、或ハ歐羅巴ノ最モ錯雜ナル階級ヲ採ッテ居ル所ガアルヤウニ考ヘテ居リマス、或ハ日本デモ町村ナリ、郡ナリニ……直チニ町村、郡ト云フモノニ、土工組合トカ、水利組合ト云フモノヲ拵ヘル所ガアリマスガ、之ニ付テハ其事業事業ニ付テ造ッテ居ルノデアリマス簡便ト云フコトモ出來ルナラバ、宜シイノデゴザイマセウカ、ソレバカリニスルト云フコトハ、ドウデアリマセウカ、兎ニ角モ此案ハ大問題デアリマスシ、又明日ニ迫ッタ會期ニ、私共十分ナル意見ヲ付ケルト云フコトハ、ナカ／＼時日ガ許サヌヤウニ思ヒマスカラ、其點ニ於テ先づ廢止ニ反對スルト云フノハ已ムヲ得ナイコトデアリマスカラシテ、先づ結論ニ於テハ湯淺君ノ詰リ廢止ト云フコトノ反對説ニ賛成ヲ致シマス、詰リ現狀維持ト云フコトデ、此案ニ反對スルト云フコトハ湯淺君同様デアリマス  
○子爵野村益三君 唯今湯淺君竝ニ荒川君ノ兩君カラ種々ノ御意見ガ出タノデアリマス、其一部分ニ付テ私モ至極御同感ノ所ガアルノデアリマス、管シク申上ゲルマデモゴザイマセヌガ、而カモ此郡制ノ廢止ニ付テ、地方ニ依リマシテハ面白カラヌ影響ヲ蒙ムル所モ實際アラウト思フ、併ナガラ一方ニ於テ遠キ三十年ノ昔ニ溯リマシテ郡制制定ノ當時ノコトヲ考ヘテ見マスト、多少此無理ノ所ガアツタ所モアルヤウニ思ツタノデアリマス、御承知ノ如ク「ドクトル、モッセ」ガ獨逸カラ參リマシタ當時ニ、一時制度編纂委員會ト云フモノガ出來マシテ、専ラ「モッセ」此ノ意見ヲ參酌サレテ、サウシテ今日ノ自治制度ト云フモノガ出來タト云フコトハ、諸君御承知ノ通リデアリマス、當時所謂「プロシャ」ナドニ於ケル「プロフィンツ」或ハ「クライス」ト云フヤウナ制度ヲ直チニ引移シタヤウナ事實ノアルノハ、是亦皆サンノ御承知ノ通リデアリマス、デアリマスルガ、種々ノ参考資料及び種々ノ點カラ考ヘテ見マシテ、ドウモ此郡其モノニ對シテ當初期待サレタダケノ期待ヲ、今日我ミガ

有シ得ルト云フコト、是ハ餘程疑問ノヤウニ考へルノデアリマス、ソレデ先刻申上ゲルヤウニ廢止トノデ、其方ニ有效デアルトシマスレバ、矢張リ當時三十年ノ昔ニ自治制度ヲ實行サレタ時ノ大英斷ト云フ様ナ、矢張リ英斷ヲ以テ今日我々ガ自治制度ノ發達ト云フ點ニ於テ、矢張リ大英斷ヲ振フベキ時デハアルマイカ、多少不利不便ハアッテモ茲ニ英斷ヲ振フノガ矢張リ三十年ノ昔ニ我ガ先輩ガ自治制度ヲ確立シタ趣旨ヲ繼承スル所以デハナイカ、尤モ事柄ハ違ヒマス、當時ハ郡制ヲ擁ヘタ、今日ニ於テハ廢スト云フノデアリマスカラ、事柄ハ違フガ、併ナガラ自治制度ヲ攻究スルト云フ意思ニ於テハ、私ハ各先輩ニ劣ラナイ積リデアリマス、多少ノ遺憾ハアリマスガ、大體カラ見マシテ今日廢シタ方ガ是ハ宜カラウト云フ、ソレモ急ニヤッテ仕舞フ、卽坐ニ斷行シテ仕舞フト云フヤウナ事ナラバ、是以テ甚ダ遺憾デアリマスルガ、併シソレニハ相當ノ日月ノ餘裕ガ與ヘラレテ居ル、其時ニ於テ緩々研究モ出來ヤウト云フコトニナッテ居ル、私ハ矢張リ此際英斷ヲ以テ郡制ヲ廢止スルト云フコトニ贊成シタイト思フノデアリマス

○男爵阪谷芳郎君　本員モ郡制廢止ニ贊成デアリマスガ、是ハ三十九年本員ガ政府ニ居リマシタ時分ニ、一旦提出ニナッテ大變其時分ニハ貴族院ニ反対者ガ多クテ、政府ガ負ケタノデアリマス、其當時以來矢張リ本員ハ郡制廢止ハ當然デアラウト思フ、其當時色々研究イタシマシタケレドモ、ドウモ唯複雜ナ事ヲ醸スダケデ、大シテ郡制ヲ存シテ置ク必要ガナイヤウニ考ヘタノデアリマス、尤モ荒川君ノ如キ、湯淺君ノ如キ地方政治ニ最モ老練ノ御方ガ、其以來御研究ノ結果今度反対論ヲ御述ベニナリマシタノデ、頗ル其反対論ニハ耳ヲ傾ケザルヲ得ヌノデアリマスガ併シドウモ無論之ヲ廢シタ方ガ事務ガ簡單ニ行クデアラウト云フ判斷ヲ以チマシテ、或ハ組合ト云フヤウナコトハドウスルカト云フヤウナコトモ、先日來研究イタシテ見マシタケレドモ、組合モ大シテソレ

ガ爲ニ増スト云フヤウナコトモナイヤウニ、政府ノ  
方ノ材料ニ依ツテ見マスト思ヒマスカラ、旁々此廢止

郡制廢止ニ關スル法律案

外一件、政府ノ原案ヲ可ト

○山田敏君 私モ今阪谷男其他ノ御贊成ノ趣意ト同様ノ趣意ヲ以テ原案ニ贊成イタシマス、付イテハ政府ニ希望イタシタコトガアルノデアリマスガ、郡制ヲ廢止サレタ結果ド致シマシテ、此案ノ主ナル事項ハ造營物ノ處分デアルトカ、事業廢止ト云フヤウナコトデアリマスガ、夫ニ付キマシテハ事業ノ少イナル所ニ於テハ何等ノ混雜ガ生ジマセヌガ、郡ノ大イナル所デアツテ、相當事業ヲ經營シテ居ル場所ニ於テハ之ヲ處分スルニ於テ混雜ヲ生ズルダラウト思フ、サウ云フコトニ付テハ監督官廳トシテハ十分ノ御注意ヲ御拂ヒ下スツテ、サウシテ郡制廢止ノ爲ニ圖ラザル移ス場合ニ於テハ、町村ノ自治ノ發達、又町村公民ノクノ事業ハ縣ニ移リマセウガ、又町村ニ移サンケレバナラヌ事業モ澤山出來ルダラウト思フ、其町村ニ障碍ガ生ジナイヤウニ御盡力願ヒタイト、又一方多大ノ自治團體ヲ發展サセル、又公共心養成ト云フ様ナヨニ付テ、十分監督官廳トシテ御干涉ヲ一層シテ戴カンケレバ、イカヌダラウト思フ、平タク言ヒマスト云フト、郡ノ所屬デアル事業ガ町村ニ移サレル、町村ノ經費膨脹ト、サウシテ一方町村ニ今マデアツタ制度ガ今度改ツテ來ルト云フヤウナ場合デアリマスカラ、餘程其邊ヲ御注意ヲ願ハンケレバ、豫期ノ目的ヲ達スルコトハナカヽ難シカラウト思ヒマスカラ、中央政府ハ申スニ及バズ、中央政府ノ方針トシテ、縣郡其他ノ系統的監督官廳ヲシテ十分ノ注意ヲ拂フヤウニシタイ、ソレヲ私ガ希望シマス、其希望ヲ述べテ贊成ノ意ヲ表シマス

郡制廢止ニ關スル法律案外一件、政府ノ原案ヲ可トスル諸君ノ擧手ヲ願ヒマス

○委員長（公爵近衛文麿君）　過半數ト認メマス、原案ヲ可決イタシマシタ、是ヨリ六大都市ノ行政監督ニ關スル法律案ヲ議題ニ供シマス、政府ヨリ御説明ヲ願ヒマス（舉手者多數）

○政府委員（塚本清治君）　一應説明ヲ申上ゲマス、東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋ノ私共稱シテ六大城市ト申シテ居リマス所ノモノハ、其人口戸數ナリ經濟ノ力ナリ、又事務處理ノ機關等ニ於キマシテ遙ニ他ノ市トハ優レテ居リマス、殆ド府縣以上トモ田ヒマスルガ、少ナクトモ府縣ト肩ヲ列ベ得ル様ナ發達ヲ致シテ參リマシタ、然ルニ其行政監督ニ付キマシテハ、他ノ小都市ト何等變ル所ガナイ、總テ劃一的ノ取締ノ下ニ置レテ居ルト云フノデアリマスルガ、斯様ナコトデハ徒ニ形式ニ流レマシテ、監督上動キスレバ實益ヲ缺クノデアリマス、即チ府縣廳ニ於テ許可及認可等ノ監督ヲ致シマシテモ動モスレバ形式ニ流レテ實益ガナイヤカリデナク、却ツテ事務ノ繁雜遲滯ヲ來タスト云フ弊害ヲ見マスノデ、是等ノ六大城市ノ監督ニ付テハ特例ヲ設ケル、市ノ公共事務ニ付テ市制ノ規定ニ於キマシテ其他ノ都市モ同様色ム所ニ依ツテ、其許可ナリ或ハ認可ヲ省略スル事ガ出來ルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、勿論今日ノ時勢ニ於キマシテモ、其事ノ輕易ナルモノニ付テハ普通許可ヲ要スベキモノモ要シナイコトニ、勅令王改ムルコトガ出來ルコトニナツテ居リマスケレドモ併ナガラソレハ輕易ナルモノニ限ラレルノデアリマスカラ、此法律ノ改正ニ依ツテ殊ニ稍々輕易ナラザルモノニシテモ、尙ホ六大城市ニ限ツテ府縣知事ノ許可ヲ要シナイコトニスルコトガ適當ナ場合モアルト考デアリマス、其他市制中ノ事項ニ限リマセズ、他ノ法律ニ關スルコトデ矢張リソレバ、府縣知事ノ許可若

○湯淺倉平君 御承知ノ通り隨分澤山ナ法律案ガ出  
テ居ル、殊ニ重要ナ法律案ガ、委員會ニ於テモ本會ノ方  
ニ於テモ繼續シテ居ルト云フヤウナ有様デアリマス  
ガ、實ハ私一個ト致シマシテバ、地方制度關係ノ案ニ  
付テ澤山ナ材料ヲ頂キマシテ、之ヲ 實檢スルノニ  
モ相當勉強ハ致シタ積リデハ居リマスガ、ナカノ＼＼  
容易ニ之ヲ見ルコトハ出來マセヌ譯デアリマスガ、  
是モ幾多ノ質問應答ヲ重ねテ漸次多數ノ法律案ノ議了  
ヲ見タ譯デアリマスガ、マダ後ニ澤山法律案ガ殘ッテ居  
ルト云フ様ナ譯デ、之ニ對シテハマダ私ダケハ十分  
目ヲ通シテ居リマセヌ譯デ、會期切迫ノ際ニ、餘リニ  
講究ヲ遂ゲナイデ議了スルコトハドンナモノカト思  
ヒマスガ、暫ク頂戴シタ材料ヲ拜見スルダケノ餘暇  
ヲ御與ヘ下サル意味ニ於テ、散會ヲ御許シニ相成ル  
譯ニハ參リマセヌデアリマセウカ、是ハ私一個ノ希  
望デアリマス

○男爵島津久賢君 私モ湯淺君ノ動議ニ賛成

○委員長(公爵近衛文麿君) 速記ヲ止メテ下サイ  
(速記中止)

○副委員長(男爵阪谷芳郎君) ソレデハ速記ヲ始メ  
マス、ソレデ六大都市ノ行政監督ニ關スル法律案、之  
ニ對シテ御質問ガゴザイマスカ

○湯淺倉平君 質問ハ澤山アリマスガ、少シモ研究  
シテ居リマセヌカラ澤山御尋ねイタシタイト思ヒマ  
ス、第一ニ政府ハ此法律案ノ提出ニ依テ、多年大都市  
ノ希望シテ居ル特別市制ト云フモノヲ制定セラルル  
意思ハナイノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、先ヅ  
此點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(塚本清治君) 政府ハ此法律ヲ出シテ以  
テ所謂特別市制ニ代ヘルト云フ精神ハアリマセヌ、  
特別市制ハ自カラ別問題トイタシマシテ目下調査申  
デアリマスガ、更ニ調査ノ歩つ定メテ行キタイト云  
クハ認可ヲ要スルコトノ規定ヲ見ル事ガアリマス、  
サウ云フ場合ニ於キマシテモ、事ガ六大都市ニ限ッテ  
是等ノ手續ヲセナイデ宜イト認メルモノハ、矢張り  
勅令ヲ以テ其許可若クハ認可ヲ省略スルコトニ致シ  
タイト考へマシテ、併セテ此點モ法律ノ明文ノ中ニ  
載セタ次第デアリマス

ノ考デアリマス、固ヨリ所謂特別市制ノ意味ハ、色  
ノ點ニ於テ此府縣知事ノ監督ヲ達成セシムルト云フ  
モノデアラウト思ヒマス、特別市制ノ内容ノ中ニハ、  
第一次監督官廳トシテ縣知事ノ認可等ヲ、他ノ都市  
ト比ベマシテ省略セラルルト云フコトガアラウト思  
ヒマス、故ニ此法律案ノ内容ハ此土地ガ特別市制ヲ  
敷カレタ時ニ、其内容ノ市ヲ爲スト云フコトニナラ  
ウト思ヒマス、之ヲ特別市制ト考ヘ、若クハ特別市制  
ニ代ヘルト云フ意味ハ少しモゴザイマセヌ

コトハ甚ダ望シクナイコトデアリマスガ、先刻ノ條件附ト原案ヲ否決シタ場合ニハ削ル、未了デアレバ其儘ニスルト云フ條件デアッタノデアリマス、實ハ未了ト云フコトニナレバ、即チ報告ガ出來ル積モリデアリマス、ソレガ手續上ノ關係デ或ハ混雜ヲ惹起スルト云フ事ハ、委員會ノ皆サンモ本意デナイコトト思ヒマスカラ、此際他ノモノハ未了ニ終ラシムルト云フ御意向ガ多數デアリマスレバ、先刻ノ條件ヲハッキリ取消スカ、先刻決議ニナッタ通り確定シタラドウデゴザイマセウ、御多數ノ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス

○ 荒川義太郎君 私ハ混亂ヲ起スト云フ積リハゴザ  
イマセヌカラ御承知ヲ願ヒマス、手續上ナラ手續上  
デ決メナケレバナラヌ、私ハ先刻一旦取消スト決議  
ニナツタ事ヲ取消スニハ、別ニ會ヲ開クナレバ格別、  
サウ云フコトハチヨット出來ナクハアリマセヌカ、先  
刻ノ儘ナラ差支ナイガ、先刻ノヲ改メルト云ツテモ取  
消ス、云ツキモ

○木場貞長君

○荒川義太郎君 終了シテ仕舞ツタノデス、アレが續イテ居ル案ナラ宜シイガ、市町村制改正案ハ濟ンデ仕舞ツタノデ、續イテ居ルモノデナイト私ハ思フ

○木場貞長君 今議シテ居ルノハ、府縣制等ノ改正

案ヲ今後議スル大議ガニカレ云フニトニナルハテ  
アツテ、前ノ條件ガ府縣制ノ成立ツカ否ヤト云フコト

ガ條件ニナツテ居ツタ、所デ今矢張リ府縣制ヲ議スル  
カ否ヤト云フコトヲ決セントスルノデアルカラ、其

府縣制等ノ改正案ヲ迎モ議スル時間ガ無イト云フ

コトニナシタ以上ハ手續上ノ上ニ於テ前ハノンキリ明カニスル方ガ宜シイカラ、此委員ニ於テ委員

ノ多數ガ其精神ニ依リマシテ、條件附デアツタノヲ、  
義サズニ未了ニ置クト云フ結果トシテ、明カニ決議

ニナツタ通リニスル、無條件ニ決定シタモノト認メル

ト云ふコトヲ決議シテモ一向差支ナイト思ヒマス  
○荒川義太郎君 私ハドウモソイツハ能ク木場君ノ

仰ツシヤルコトガ分リマセヌガ、私ノ方ガ惡ルクテ分  
ラナイカモ知レマセヌ、鬼ニ角光剥ノ案ハ決議ニナツ

卷之三

タ、此先ハ他ノ案ガ未了ニ終ルカ若クハ否決ニナル  
カ、其時ニハ矢張リ前ニ御決議ニナッタ通リデ以テ御  
進ミニナルノガ當リ前ダラウト思フ、ソレデナイト  
ドウモ私ハ木場サンノ今言ハレル論ガ分ラヌ

○木場貞長君 差支ナイヂヤゴザイマセヌカ、意嚮  
ノアル所ヲ明カニシテ……

○湯淺倉平君 何カ先刻ノ決議デ差支ガアリマスノ  
デスカ、私ハ先刻ノ決議ハ自分ノ意見トハ少シ違ッテ  
居リマシタケレドモ、決議デ決ッタモノデ、ドウ云フ  
コトデ決ッタ云フト、市制中改正法律案、町村制中  
改正法律案ノ議事ニ就テ事柄ハ決定イタシテ居ル、  
ソレヲ今六大城市ノ行政監督ニ關スル法律案ヲ議サ  
ウツスル際ニ、前ノ決議ヲ今取消ストカ取消サナイ  
トカ云フコトガ、可能ノモノデアルカ否カ、私ハ絶對  
ニ出來ナイ、違法ナコトデアルト思フ、託サレタ法律  
案ノ議事ハ決定シテ、委員會ノ議事トシテハ可決  
ヲ致シテ居ル、其コトヲ今ドウシヤウト云フコトハ  
致方ガナイモノダラウト思フ

○副委員長(男爵阪谷芳郎君) 今六大城市ノ質疑ニ  
這入シテ居リマス、其場合ニ於テ尙ホ質疑ガ多ケレバ  
今日ハ延バサウトスウ云フ御説ガ出テ居リマス、ソ  
レカラ今日ソレヲ延バシマスト、今議長ノ方カラ此  
市町村制郡制ヲ、明日上程スルコトニ差支ガアリハ  
シナイカト云フ註文ガアッタノデス、其コトヲ併セテ  
御相談イタシタノデスガ、成瀬書記官ガ御出デニナッ  
テ居リマスカラ、速記ヲ中止シテ其御話ヲ聽イテハ  
如何デス……ソレデハ……

(速記中止)

○副委員長(男爵阪谷芳郎君) 速記ヲ始メテ、ソレ  
デハ此六大城市行政監督ニ關スル法律案ニ付キマシ  
テハ、マダ質問ガ澤山残シテ居リマス、到底今日之ヲ  
議スル事ハ出來マセヌ、其他ノ法案ニ就キマシテモ  
數多マダ残シテ居リマスノデ、是ハ到底今期ノ議會ニ  
ハ事實議了ガ出來ヌト委員長ハ認メマシタ、從ヒマ  
シテ先刻委員長ニ修正ヲ御託シニナッテ居リマスル  
市町村制ノ第百七十七條、市町村制第百七十七條ハ  
其當時御委託ニナリマシタ通り、其儘ニ委員長ハ報  
告イタシマス

〔「賛成ト」呼フ者アリ〕  
○副委員長(男爵阪谷芳郎君) 今日ハ是デ散會イタ  
シマス

午後四時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵近衛  
副委員長 男爵阪谷  
委員 久任君 芳郎君

伯爵中川 子爵黒田  
子爵野村 仁川君

男爵島津 義太郎君  
男爵南岩倉 具威君

木場 久賢君  
磯部 四郎君

大谷 倉平君  
湯淺 嘉兵衛君

山田 敏君  
平井六右衛門君

横山 章君

國務大臣

内閣總理大臣 原  
内務大臣 床次 竹二郎君

政府委員

内務省神社局長兼内務省地方局長 塚本  
内務省參事官 松村 真一郎君  
清治君

法制局參事官 松田 源治君

貴族院市制中改正法律案外七件特別委員會議事速記錄第五號

大正十年三月二十五日

一〇

大正十年四月十九日印刷

大正十年四月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局